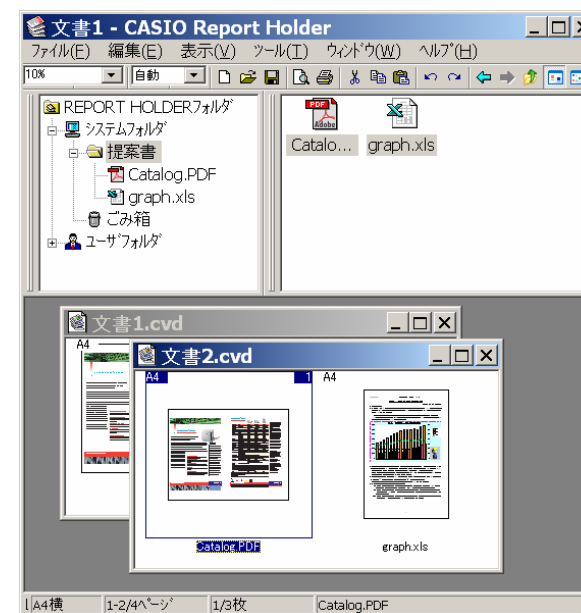
SPEEDIA

REPORT HOLDER for SPEEDIA ユーザーズマニュアル

REPORT HOLDER のセットアップ方法と操作方法について記載されています。

T-746PC　2005年5月31日　第4版発行

はじめに

本マニュアルは、「REPORT HOLDER」のセットアップ方法、操作方法について記載してあります。
本マニュアルの各機能を十分にご理解の上、正しくお使いいただくようお願いいたします。

ご注意

(1) 本ソフトウェアおよび、マニュアル(以下、単にソフトウェア)の著作権は、カシオ計算機株式会社およびカシオ電子工業株式会社の所有です。
(2) 本ソフトウェアの一部または、全部を無断で使用、複製する事は禁止されています。
(3) 本ソフトウェアの仕様ならびに、記載内容については、将来予告なしに変更する事があります。
(4) 本マニュアルでは、Microsoft Windows 95/98/Me をWindows 95/98/Me と表記しています。
(5) 本マニュアルでは、Microsoft Windows NT Workstation 4.0/Microsoft Windows NT Server 4.0 をWindows NT4.0 と表記しています。
(6) 本マニュアルでは、Microsoft Windows 2000 Professional/Microsoft Windows 2000 Server をWindows 2000 と表記しています。
(7) 本マニュアルでは、Microsoft Windows XP Home Edition/Microsoft Windows XP Professional をWindows XP と表記しています。
(8) Windows に関する操作や概要につきましては、それぞれの付属マニュアルをご覧ください。
(9) 本ソフトウェアの内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きの事がありましたらご連絡ください。
(10) 本ソフトウェアを運用した結果の影響につきましては、(9)項にかかわらず一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
(11) 本マニュアルに記載されている画面は、開発中のものです。実際の画面と異なる場合があります。
(12) ご利用いただく環境によっても、実際の画面表示と本マニュアル中の画面の図とで差異が見られる場合があります。
(13) SPEEDIA はカシオ計算機株式会社の登録商標です。
(14) Microsoft、Windows、Windows NT 及び Windows Server は米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
(15) その他記載された会社名及び製品名等は、該当する各社の登録商標または商標です。
(16) 本文中またはソフトウェア上の記載には必ずしも商標表示（R,TMマーク）を付記していません。

目次

REPORT HOLDER の概要

『REPORT HOLDER』は、アプリケーションで作成された文書を再編成するためのドキュメントソリューションです。
複数のアプリケーションで印刷された複数の文書を１つの文書にまとめたり、ページの配置を変更する、レイアウトを変更する、といった機能を持ちます。

REPORT HOLDER の特徴

・ 他のアプリケーションで作成した文書を、REPORT HOLDER 印刷機能に対応したプリンタを選択して印刷を行うことで、実際のプリンタに印刷する代わりに REPORT HOLDER の『スプールファイル』形式で保管します。スプールファイルは、『REPORT HOLDER エディタ』で操作することができます。

・ REPORT HOLDER エディタでは、スプールファイルを、『選択ウィンドウ』／『表示ウィンドウ』に表示します。
選択ウィンドウ／表示ウィンドウでは、Windows エクスプローラでファイルを扱うようにスプールファイルを管理できます。

・ 『編集ウィンドウ』では、選択ウィンドウ／表示ウィンドウにあるスプールファイルやスプールファイルの各ページ（『スプールページ』）を部品のように扱います。
スプールファイルをドラッグ＆ドロップなどの操作で編集ウィンドウに挿入することで、REPORT HOLDER 文書として構成することができます。編集ウィンドウに挿入された各ページ（『編集ページ』）は、並べ替えや、レイアウトの変更を行うことができます。

・ REPORT HOLDER 文書は、２つの形式で保存できます。
保管された文書へのリンクにより文書を構成する CVD ファイル形式と、保管された文書を取り込んで文書を構成する CRD ファイル形式があります。

・ REPORT HOLDER では、文書の参照や構成を容易にするために多彩な表示機能を用意しています。次のような表示機能があります。
・アイコン表示（大きいアイコン表示、小さいアイコン表示、一覧表示）で文書名だけを表示、または文書の詳細情報だけを表示して、軽快に編集を行える詳細表示／リスト表示機能
・文書のプレビューを表示しながら編集ができるイメージ表示／概観表示機能
・構成した文書のプレビューを行う印刷プレビュー機能
・選択したページだけを表示するページプレビュー機能
・ウィンドウを切り替えずにプレビューを表示するスナップショット機能
・REPORT HOLDER エディタのウィンドウ状態まで含めて一括して切り替えることができるエディタモード／ビューアモードの切り替え機能

REPORT HOLDER の動作環境

本製品は、以下の環境で動作します。

●オペレーティングシステム
Windows 95(OSR2.0 以降)/98/Me 日本語版
Windows NT 4.0 x86 日本語版
Windows 2000
Windows XP

●ハードウェア
上記オペレーティングシステムが動作するコンピュータ

※推奨環境
CPU：300MHz 以上
メモリ：64MB 以上
ハードディスク空き容量：200MB 以上の一時作業領域（さらに、スプールファイルを保管しておくための空き容量が必要です。）

REPORT HOLDER の構成

REPORT HOLDER は、以下のソフトウェアで構成されています。

・ **REPORT HOLDER 対応プリンタドライバ**
REPORT HOLDER に文書ファイルを投入する機能を持つプリンタドライバです。
このプリンタドライバを選択して『REPORT HOLDER 印刷』を行うことで、REPORT HODLER エディタで操作可能な『スプールファイル』に変換します。

・ **CASIO SPOOL CONVERT プリンタドライバ**
スプールファイルの変換を行うプリンタドライバです。
REPORT HOLDER エディタとともにインストールされます。
※スプールファイル変換専用プリンタドライバです。このプリンタを選択して印刷することはできません。
　このプリンタを削除すると、一部のアプリケーションでフォントが正しく表示されないことがあります。

・ **REPORT HOLDER 対応プリントプロセッサ**
プリンタドライバと連携して、REPORT HOLDER 用スプールファイルを作成します。
REPORT HOLDER エディタとともにインストールされます。

・ **REPORT HOLDER 管理モジュール**
スプールファイルの管理やエディタの自動起動などを行います。
REPORT HOLDER エディタとともにインストールされます。

・ **REPORT HOLDER エディタ**
文書ページを構成するためのエディタです。

REPORT HOLDER のセットアップ

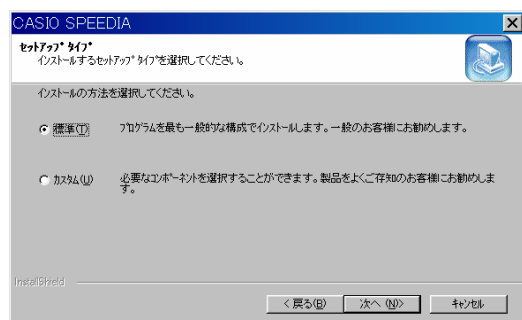
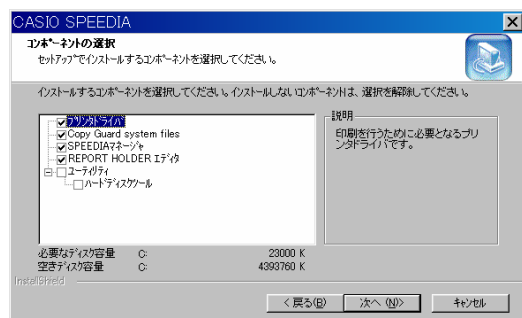
REPORT HOLDER をコンピュータにセットアップするためには、プリンタドライバと REPORT HOLDER エディタをインストールする必要があります。
ここでは、REPORT HOLDER エディタを個別にインストールする方法をご紹介します。
プリンタドライバのセットアップについては、プリンタドライバのマニュアルなどをご覧ください。
（※ご利用いただくプリンタにより、画面の表示や設定項目が異なることがあります。）

●セットアップCDを挿入する

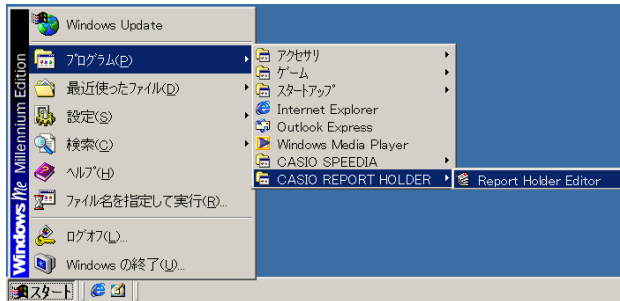
コンピュータに SPEEDIA プリンタのＣＤをセットします。

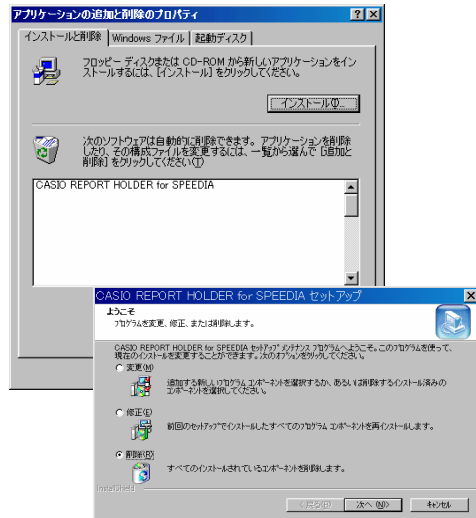
●セットアップを実行

自動的に表示されるスタートアップメニューから、セットアップを実行します。
（しばらく待っても自動的にスタートアップメニューが表示されない場合には、エクスプローラなどから CD ドライブを表示し、startup.exe を実行してください。）

●REPORT HOLDER エディタを選択してインストール

セットアップウイザードが表示されたら、左図の画面まで[次へ]ボタンで進めます。
[セットアップタイプ]では[カスタム]を選択します。

[カスタムセットアップ]で REPORT HOLDER エディタが選択されていることを確認してください。
同時にプリンタドライバも選択します。（REPORT HOLDER 印刷を行うために、対応するプリンタドライバもインストールする必要があります。）

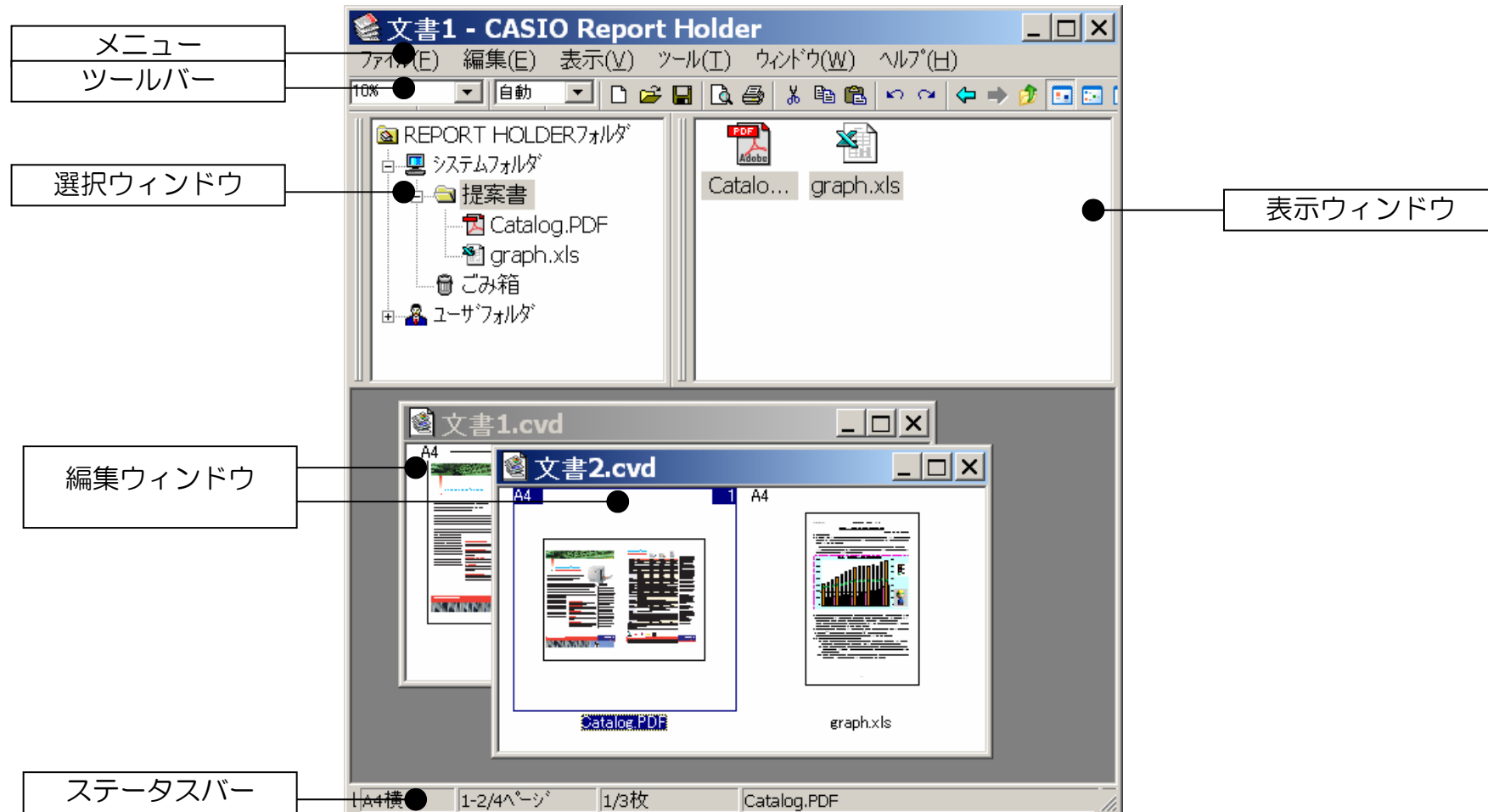
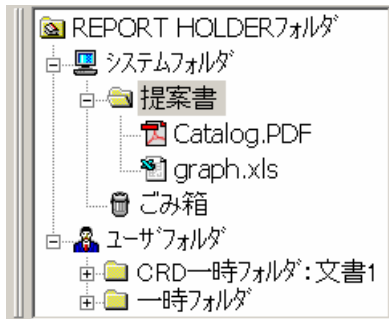
セットアップウイザードの指示にしたがって操作を進めると、REPORT HOLDER エディタがインストールされます。
インストール完了後、コンピュータの再起動を行ってください。
これで REPORT HOLDER のセットアップは完了です。

●REPORT HOLDER エディタを実行

セットアップが完了すると、スタートメニューに REPORT HOLDER エディタが登録されます。[Report Holder Editor]をクリックすると、REPORT HOLDER エディタを起動することができます。

●REPORT HOLDER エディタのアンインストール

REPORT HOLDER をアンインストールする場合には、アプリケーションの追加と削除（WindowsXP では、プログラムの追加と削除）から実行します。

REPORT HOLDER のバージョンアップなどで再インストールを行う場合には、必ず一旦アンインストールを行う必要があります。以下の方法でアンインストールを行ってください。

スタートメニューから、[設定]→[コントロールパネル]と選択し、コントロールパネルから[アプリケーションの追加と削除]を実行します。
[アプリケーションの追加と削除]から CASIO REPORT HOLDER for SPEEDIA を選択して、[変更／削除]ボタンをクリックすると、左図の画面が表示されます。[削除]を選択して[次へ]ボタンをクリックすると、削除処理が開始されます。
アンインストールが正常に終了した後、再起動を行ってから再インストールを実行してください。

REPORT HOLDER エディタの画面構成

■選択ウィンドウ

スプールファイルを格納するフォルダ構造を表示するウィンドウです。
フォルダ構造は、ツリー形式で表示されます。
フォルダ構造の基本となるフォルダに、『システムフォルダ』／『ユーザフォルダ』があります。

●システムフォルダ

システムフォルダは、他のユーザとスプールファイルを共有することのできるフォルダです。
システムフォルダのディスク上の格納場所は、環境設定で変更することができます。

●ユーザフォルダ

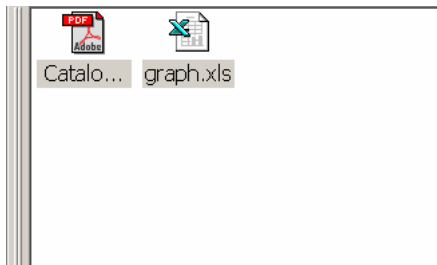
ユーザフォルダは、ユーザが固有に使用するフォルダです。
ユーザフォルダのディスク上の格納場所は、環境設定で変更することができます。

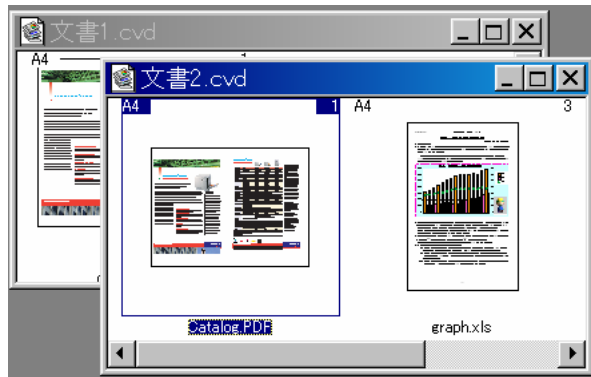
●ゴミ箱

ファイルを削除するときにいったん格納されるフォルダです。
誤って削除してしまっても、いったんごみ箱に格納されるため、元に戻すことができます。
※REPORT HOLDER エディタでは、フォルダはごみ箱に格納されず、単に削除されます。

●一時フォルダ

REPORT HOLDER エディタが一時的に使用するフォルダで、エディタの終了時に削除されます。
CRD ファイルに保存されているスプールファイルも、一時フォルダ（CRD 一時フォルダ）を用いて展開されています。
※一時フォルダに格納されたスプールファイルは、エディタの終了時に削除されます。

■表示ウィンドウ

選択ウィンドウで選択されているフォルダに格納されているスプールファイルを表示するウィンドウです。
選択ウィンドウでスプールファイルが選択されている場合には、スプールファイル内のスプールページを表示します。

■編集ウィンドウ

文書の編集を行うためのウィンドウです。
格納されているスプールファイル／スプールページを、選択ウィンドウ／表示ウィンドウからドラッグ＆ドロップしてページを追加することができます。

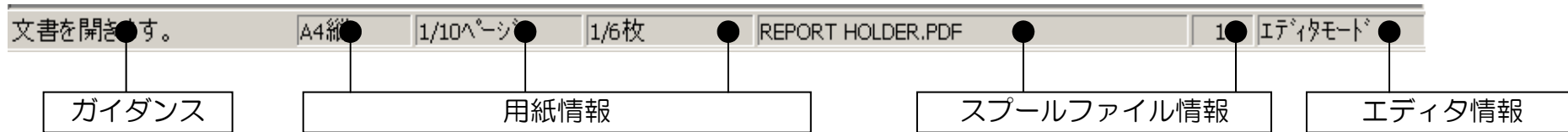
[ファイルメニュー・新規作成]から、新しい編集ウィンドウを作成できます。

■ツールバー

ツールバーを使って REPORT HOLDER エディタの各機能にすばやくアクセスできます。

アイコン	名称	説明
10%	表示倍率	表示ウィンドウ（イメージ表示時）、編集ウィンドウ（概観表示時）のイメージ表示倍率を設定します。
自動	表示列数	編集ウィンドウに表示する列数を、固定することができます。
	新規作成	新しい REPORT HOLDER 文書を作成します。
	開く	REPORT HOLDER 文書ファイルを開きます。
	上書き保存	REPORT HOLDER 文書を既に指定された名前で上書き保存します。
	印刷プレビュー	使用中の編集ウィンドウの印刷プレビューを表示します。
	印刷	使用中の編集ウィンドウの印刷を行います。
	切り取り	選択されたフォルダ、スプールファイルまたは編集ページを切り取ります。
	コピー	選択されたフォルダ、スプールファイルまたは編集ページをコピーします。
	貼り付け	切り取りまたはコピーを実行したフォルダ、スプールファイルまたは編集ページを挿入します。
	元に戻す	編集ページに対して行った操作を取り消します。
	繰り返し	編集ページに対して行った操作を繰り返します。
	戻る	１つ前のフォルダに戻ります。
	進む	[戻る]で移動する前のフォルダに進みます。
	１つ上の階層へ	選択ウィンドウで選択されている階層から、１つ上の階層に移動します。
	大きいアイコン	表示ウィンドウの表示モードを大きいアイコン表示に切り替えます。
	小さいアイコン	表示ウィンドウの表示モードを小さいアイコン表示に切り替えます。
	一覧表示	表示ウィンドウの表示モードを一覧表示に切り替えます。
	詳細表示	表示ウィンドウの表示モードを詳細表示に切り替えます。
	イメージ表示	表示ウィンドウの表示モードをイメージ表示に切り替えます。
	概観表示	編集ウィンドウの表示モードを概観表示に切り替えます。
	リスト表示	編集ウィンドウの表示モードをリスト表示に切り替えます。
	文書単位にまとめて表示	編集ページを文書単位にまとめて表示します。
	ページごとにばらして表示	編集ページをページごとにばらして表示します。
A4	基準サイズ	編集ウィンドウの配置を[基準サイズで整列]とした時などに基準となるサイズを指定します。

■ステータスバー

主に現在選択している編集ページの情報が表示されます。

ガイダンス

メニューなどのガイダンスを表示します。

用紙情報

選択されている編集ページの情報を表示します。
左から、用紙サイズ・用紙方向／編集ページ数／編集用紙数を表示します。
編集ページ数と、編集用紙数は、マルチページの設定をしていない場合、同じ数になります。

スプールファイル情報

選択されている編集ページの参照元のスプールファイル情報を表示します。
左から、スプールファイル名／スプールファイルにおけるページ番号を表示します。

エディタ情報

エディタの表示に関する情報を表示します。
現在のモードとして、エディタモードが選択されているか、ビューアモードが選択されているかを表示します。

■メニュー

ファイル(F)　編集(E)　表示(V)　ツール(T)　ウィンドウ(W)　ヘルプ(H)

メニューの項目をクリックすると、サブメニューが表示されます。
各サブメニューをクリックしたとき、以下の機能が実行されます。

●ファイルメニュー

新規作成	**フォルダ** フォルダを作成します。 **文書** 新しい REPORT HOLDER 文書を作成するときに実行します。 空の編集ウィンドウが作成されます。
開く	REPORT HOLDER 文書ファイルを開きます。
閉じる	REPORT HOLDER 文書を閉じます。
上書き保存	REPORT HOLDER 文書を既に指定された名前で上書き保存します。 名前がまだ指定されていない場合、名前を付けて保存の動作になります。
名前を付けて保存	REPORT HOLDER 文書に名前を付けて保存します。
取り込み	REPORT HOLDER 文書以外の文書を REPORT HOLDER エディタに取り込みます。 文書に関連付けられたアプリケーションが起動されて、自動的に REPORT HOLDER 印刷が実行されます。 ※この機能は REPORT HOLDER for SPEEDIA では、無効になっています。
ごみ箱を空にする	ごみ箱にあるスプールファイルを削除します。
ごみ箱から元に戻す	ごみ箱にあるスプールファイルを元のフォルダに戻します。
スキャナ読み込み	スキャナからスプールファイルを作成します。 スキャナ読み込みダイアログボックスが開きます。 ※この機能は REPORT HOLDER for SPEEDIA では、無効になっています。

スキャナ設定	スキャナの設定を行います。 ※この機能は REPORT HOLDER for SPEEDIA では、無効になっています。 **デバイス設定** 　スキャナを選択するためのダイアログボックスが開きます。 **イメージ取得能力設定** 　スキャナの設定を行うためのイメージ取得能力の設定ダイアログボックスが開きます。 **スプール設定** 　スキャナから読み込まれたデータをどのようにスプールファイルとして格納するのかを設定するための REPORT HOLDER 印刷設定を行うダイアログボックスが開きます。
文書情報	使用中の編集ウィンドウの文書情報を表示します。
プロパティ	選択したフォルダ、スプールファイルまたは編集ページの情報を表示します。
リンク先を探す	選択された編集ページの元となるスプールファイルを表示します。
プリンタ設定	使用するプリンタを選択することができます。
ページ設定	使用中の編集ウィンドウに対するページ設定を行います。
印刷プレビュー	使用中の編集ウィンドウの印刷プレビューを表示します。
印刷	使用中の編集ウィンドウの印刷を行います。
最近開いたファイル	最近開いたファイルの名称が表示されます。選択したファイルを開きます。
終了	REPORT HOLDER エディタを終了します。

●編集メニュー

元に戻す	編集ページに対して行った操作を取り消します。
繰り返し	編集ページに対して行った操作を繰り返します。
切り取り	選択されたフォルダ、スプールファイルまたは編集ページを切り取ります。 切り取ったスプールファイルまたは編集ページは、『貼り付け』メニューを実行すると、指定した場所に移動します。 ※編集ページを切り取った後、更にコピーまたは切り取りを実行すると、最初に切り取った編集ページは削除されます。
コピー	選択されたフォルダ、スプールファイルまたは編集ページをコピーします。 コピーしたスプールファイルまたは編集ページは、『貼り付け』を実行すると、指定した場所に複写されます。
貼り付け	切り取りまたはコピーを実行したフォルダ、スプールファイルまたは編集ページを挿入します。
削除	選択されたフォルダ、スプールファイルまたは編集ページを削除します。

名前の変更	選択したフォルダまたはスプールファイルの名前を変更します。
空白ページを挿入	空白のページを挿入します。
選択ページを挿入	選択されているスプールファイルまたはスプールページを編集ウィンドウに挿入します。
回転	選択されている編集ページを回転します。Windows 95/98/Me では、本機能は無効になっています。
レイアウト設定	選択されている編集ページのレイアウトを設定します。
レイアウト設定を解除	選択されている編集ページのレイアウト設定を解除します。
文書単位にまとめて表示	選択されている編集ページを文書単位にまとめて表示します。
ページごとにばらして表示	文書単位にまとめられている編集ページをページごとにばらして表示します。
バインダに入れる	選択されている編集ページを、バインダにまとめて表示します。
バインダ解除	選択されているバインダを個々のページにばらして表示します。
バインダ編集	選択されているバインダの内容を表示する別ウィンドウを開きます。
選択の切り替え	選択されているページを非選択状態に、選択されていないページを選択状態に切り替えます。
すべて選択	ウィンドウ内のすべてのスプールファイルやフォルダ、または編集ページを選択します。

●表示メニュー

ビューアモード／エディタモード	ビューアモードとエディタモードの切り替えを行います。
ツールバー	ツールバーの表示／非表示を切り替えます。
ステータスバー	ステータスバーの表示／非表示を切り替えます。
選択ウィンドウ	選択ウィンドウの表示／非表示を切り替えます。
表示ウィンドウ	表示ウィンドウの表示／非表示を切り替えます。
ウィンドウ配置	選択ウィンドウ／表示ウィンドウの配置を切り替えます。
大きいアイコン	表示ウィンドウの表示モードを大きいアイコン表示に切り替えます。
小さいアイコン	表示ウィンドウの表示モードを小さいアイコン表示に切り替えます。
一覧	表示ウィンドウの表示モードを一覧表示に切り替えます。
詳細	表示ウィンドウの表示モードを詳細表示に切り替えます。
イメージ表示	表示ウィンドウの表示モードをイメージ表示に切り替えます。
リスト表示	編集ウィンドウの表示モードをリスト表示に切り替えます。
概観表示	編集ウィンドウの表示モードを概観表示に切り替えます。
プレビュー	選択されたページのプレビューを表示します。
整列	表示ウィンドウのフォルダまたはスプールファイルについて、表示順を変更します。

配置	編集ウィンドウの配置方法を変更します。
ズーム	表示ウィンドウ（イメージ表示時）、編集ウィンドウ（概観表示時）のイメージ表示倍率を設定します。
ツリーをすべて展開	選択ウィンドウに表示されているフォルダ階層のツリーをすべて展開した状態にします。
フォルダの移動	戻る 　１つ前のフォルダに戻ります。 進む 　[戻る]で移動する前のフォルダに進みます。 １つ上の階層へ 　選択ウィンドウで選択されている階層から、１つ上の階層に移動します。
最新の情報に更新	スプールファイルの情報を、最新の状態に更新します。

●ツールメニュー

環境設定	環境設定ダイアログボックスを開き、環境設定を行います。
エディタ設定	エディタ設定ダイアログボックスを開き、エディタ設定を行います。
メール送信	メールに添付された REPORT HOLDER 文書を開いたときに、受け取り確認の返信を行います。

●ウィンドウメニュー

並べて表示	編集ウィンドウを並べて表示します。
重ねて表示	編集ウィンドウを重ねて表示します。

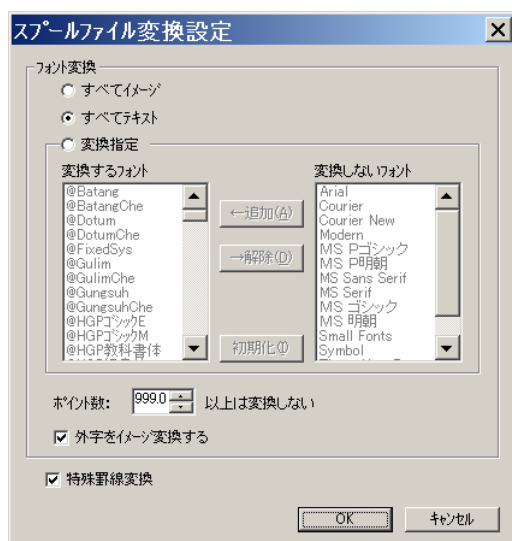
●ヘルプメニュー

トピックの検索	ヘルプのトピックを表示します。
ヘルプの使い方	ヘルプの使い方を表示します。
バージョン情報	バージョン情報を表示します。

■ダイアログボックス

メニューなどの操作によって、情報の表示や設定のためにダイアログボックスが表示されます。
各ダイアログボックスの機能について説明します。

●スプールファイル変換ダイアログボックス

ＣＲＤファイル形式でファイルを保存する時、または[環境設定]で[スプールファイル変換設定]を行う時に表示されるダイアログボックスです。
フォントなどの変換に関する設定を行います。
使用されているフォントを持たない他のコンピュータで正しく表示させるためには、フォントデータを画像イメージに変換する設定を行います。

[すべてイメージ]
すべてのフォントを画像イメージに変換する設定です。

[すべてテキスト]
すべてのフォントをそのままテキストとして保持する設定です。

[変換指定]
[変換するフォント]に指定したフォントだけを画像イメージに変換する設定です。
フォント名を選択して、[追加]ボタンと[解除]ボタンで[変換するフォント]、[変換しないフォント]に振り分けます。

[追加]／[解除]ボタン
フォントを[変換するフォント]、[変換しないフォント]に振り分けます。

[保存]ボタン
[変換指定]の現在の状態を保存します。ＣＲＤファイル形式で保存するときのみ有効です。

[ポイント数～以上は変換しない]
ある一定以上に大きいサイズのフォントは、画像イメージに変換しないための設定です。大きいフォントを画像イメージに変換すると、REPORT HOLDER 文書のファイルサイズが非常に大きくなることがあります。

[外字をイメージ変換する]
画像イメージに変換しないフォントでも、外字であれば画像イメージに変換するための設定です。

[特殊罫線変換]
罫線がイメージパターンで描画されているような場合、縮小してしまうと消えてしまうことがあります。このような特殊な罫線を変換します。
（Microsoft EXCEL の罫線がこれに該当しています。）

●ページ設定ダイアログボックス

[ファイルメニュー・ページ設定]から表示されるダイアログボックスです。
ページ設定を行います。

[余白]

上下左右の余白値を設定します。余白を大きくすると、それに合わせてページイメージが縮小されます。 ※プリンタの最小余白幅より小さい値は指定できません。

[ページ設定オプション]

余白とヘッダ・フッタの位置取りを指定します。

[全ページ]

すべてのページに対して、指定した位置に余白、ヘッダ・フッタをとります。

[偶数ページを左右逆転]/[偶数ページを上下逆転]

奇数ページは指定の位置に、偶数ページでは左右または上下位置を逆転します。

[ヘッダ・フッタ印刷]

ヘッダ・フッタを印刷するかどうかを指定します。

[ページ番号]/[印刷日時]/[任意文字列]

ヘッダ・フッタには、ページ番号/印刷日時/任意文字列をそれぞれ印刷するかどうかを指定することができます。
更に、印刷する位置や形式などを指定できます。

[印刷単位]

ヘッダ・フッタ印刷を、用紙毎に印刷するのか、ページ毎に印刷するのかを指定します。マルチページ設定が行われていない用紙では、どちらの設定でも同じ結果になります。

[フォント指定]ボタン

ヘッダ・フッタ全体のフォントを指定します。

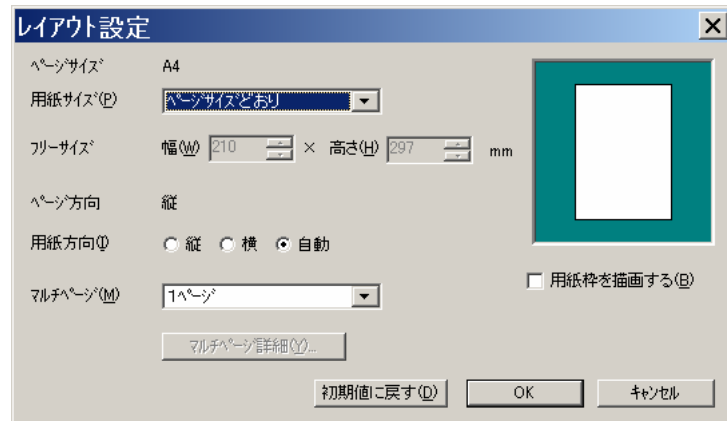
[印刷プレビュー]ボタン

ページ設定を有効にして印刷プレビューを表示します。

[初期値に戻す]ボタン

設定内容を初期状態に戻します。

●レイアウト設定ダイアログボックス

[編集メニュー・レイアウト設定]から表示されるダイアログボックスです。
編集ページのレイアウトを設定します。

[ページサイズ]
編集ページの元のサイズを表示します。

[用紙サイズ]
用紙のサイズを指定します。通常は、[ページサイズどおり]になっています。

[フリーサイズ]
フリーサイズを指定します。用紙サイズ項目がフリーサイズの時に指定します。１００×１００～２９７×１２００（mm）の値が指定できます。(実際に使用できるサイズは、プリンタによって異なります。)

[ページ方向]
ページの方向を表示します。

[用紙方向]
用紙の方向を指定します。自動の場合、元の用紙方向によって印刷する用紙の置き方が決定されます。

[用紙枠を描画する]
用紙枠を印刷する時にチェックします。

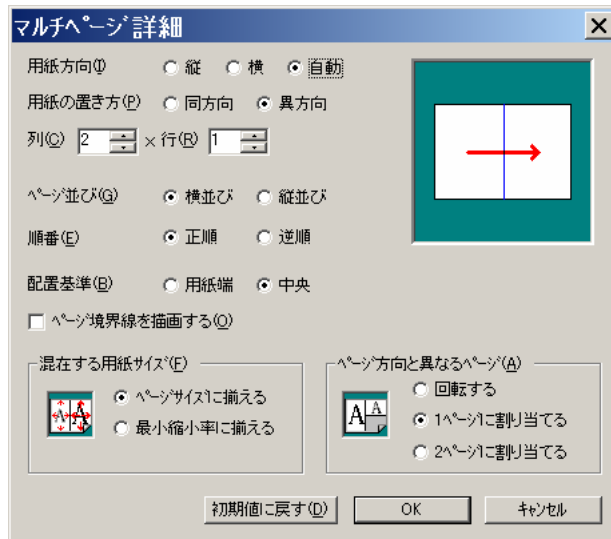
[マルチページ]
マルチページの設定を行います。自由設定の場合、[マルチページ詳細]ボタンで詳細が設定できます。

[マルチページ詳細]ボタン
マルチページ詳細ダイアログボックスを表示します。

[サンプル]
現在の設定に対応するレイアウトのサンプルを表示します。

[初期値に戻す]ボタン
設定内容を初期状態に戻します。

●マルチページ詳細ダイアログボックス

レイアウト設定ダイアログボックスから、マルチページ詳細ボタンをクリックしたときに表示されるダイアログボックスです。
レイアウト設定の内、マルチページに関わる設定を行います。

[用紙方向]

用紙の方向を指定します。

[用紙の置き方]

用紙方向が、自動の時のみ設定できます。ページ方向に対して、用紙をどのように置くのかを指定します。

[列×行]

マルチページの合成数を指定します。

[ページ並び]／[順番]

ページの並び方向とページの並び順を指定します。

[配置の基準]

ページの描画位置を用紙端あわせにするか、中央ぞろえにするか指定します。

[ページ境界線を描画する]

ページ境界線を描画する時にチェックします。

[混在する用紙サイズ]

用紙内に複数の用紙サイズが混在したときの、拡大縮小方法を指定します。
[ページサイズに揃える]では、分割された領域いっぱいになるように、すべてのページを同じ大きさに揃えます。
[最小縮小率に揃える]と、すべてのページを同じ縮小率に統一します。

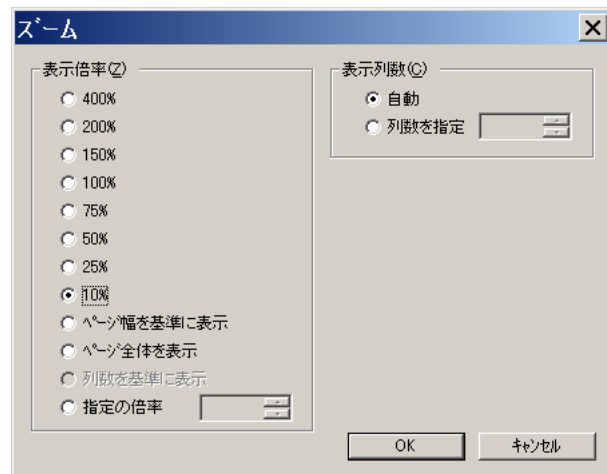
[ページ方向と異なるページ]

用紙内に縦／横が異なるページが混在したときのレイアウト方法を指定します。
[回転する]では、回転してページ方向を合わせます。※Windows 95/98/Me では、本機能は無効になっています。
[１ページに割り当てる]では、１ページを割り当てます。
[２ページに割り当てる]では、２ページ分を割り当てます。

[初期値に戻す]ボタン

設定内容を初期状態に戻します。

●倍率設定ダイアログボックス

[表示メニュー・ズーム・倍率設定]などから表示されるダイアログボックスです。
表示倍率を指定します。

[表示倍率]

表示倍率を指定します。
表示%を選択する他に、以下の設定ができます。

[ページ幅を基準に表示]
ページの幅と、ウィンドウの幅を基準に表示サイズを決定します。

[ページ全体を表示]
ウィンドウにページ全体が収まる倍率に調整して表示します。

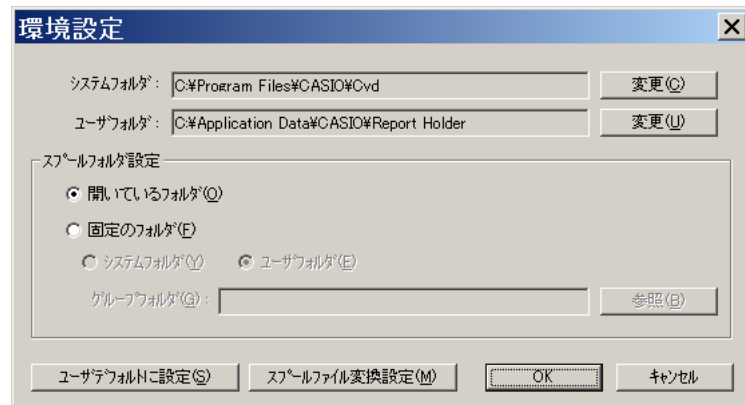
[列数を基準に表示]
表示列数が１画面に入るサイズの倍率に調整して表示します。

[指定の倍率]
表示倍率を%単位で指定します。

[表示列数]

編集ウィンドウに表示する列数を、固定することができます。
[自動]の時には、ウィンドウ幅に収まるページ数が自動的に表示されますが、列数を指定すると、指定したページ数に列数が固定されます。

●環境設定ダイアログボックス

[ツールメニュー・環境設定]から表示されるダイアログボックスです。
REPORT HOLDER エディタの環境設定を行います。

[システムフォルダ]／[ユーザフォルダ]

システムフォルダ／ユーザフォルダのディスク上のフォルダ設定です。
「変更」ボタンをクリックすると、システムフォルダ／ユーザフォルダを変更することができます。

※ システムフォルダの設定はコンピュータの管理者のみ有効です。管理者権限がない場合には指定できません。

※ 指定したフォルダ以下のファイル構造は、エディタが管理しています。エクスプローラなどから直接ファイルの追加、削除、変更を行わないでください

[スプールフォルダ設定]

REPORT HOLDER 印刷を行ったときに、スプールファイルを格納するフォルダの初期位置を指定します。

[開いているフォルダ]

REPORT HOLDER エディタで開いているフォルダに格納します。

[固定のフォルダ]

グループ設定項目に指定したフォルダに格納します。

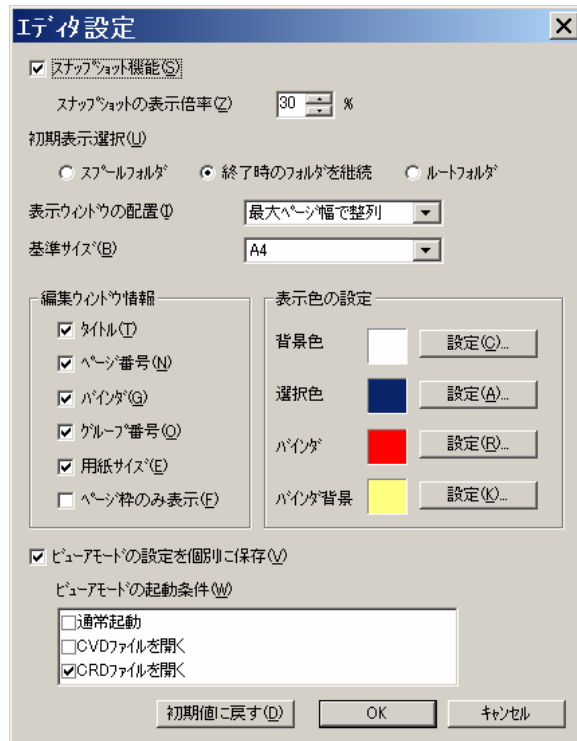
[ユーザデフォルトに設定]ボタン

「ユーザフォルダ」以外の内容を初期状態として記憶します。コンピュータの管理者のみ有効です。設定した内容がそのコンピュータ上で初めて使用するユーザの初期値となります。

[スプールファイル変換設定]ボタン

スプールファイル作成時に行う変換機能について設定します。
詳細については[スプールファイル変換設定ダイアログ]を参照してください。

●エディタ設定ダイアログボックス

[ツールメニュー・エディタ設定]から表示されるダイアログボックスです。
エディタの動作設定を行います。

[スナップショット機能]／[スナップショットの表示倍率]

スナップショット表示機能を使うかどうかを設定します。
また、スナップショット表示の表示倍率についても設定できます。

[初期表示選択]

REPORT HOLDER エディタを起動したときの選択ウィンドウの初期位置を指定します。

[表示ウィンドウの配置]

表示ウィンドウをイメージ表示にしているときに、どのようにページを配置するのかを選択します。

[基準サイズ]

編集ウィンドウの配置を[基準サイズで整列]とした時などに基準となるサイズを指定します。

[タイトル]／[ページ番号]／[バインダ]／[グループ番号]／[用紙サイズ]

編集ウィンドウに表示される、タイトル／ページ番号／バインダ／グループ番号／用紙サイズの各付加情報を表示するかどうかを指定します。

[ページ枠のみ表示]

編集ウィンドウのページイメージを表示せずにページ枠だけの簡易表示にするかどうかを指定します。

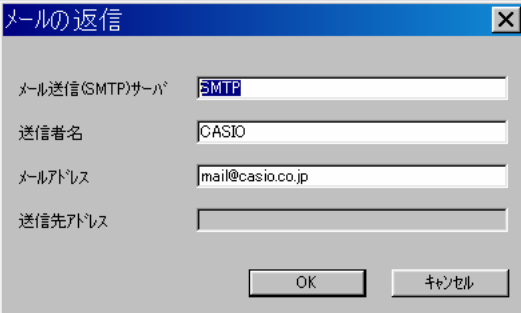
[背景色]／[選択色]／[バインダ]／[バインダ背景]

編集ウィンドウの背景／選択／バインダ／バインダ背景の色を指定できます。

[ビューアモードの設定を個別に保存]

ビューアモードの表示状態を変更した場合に、記憶しておくかどうかを選択します。チェックすると、エディタを終了するか、エディタモードに移行する時に現在の状態を記憶します。

[ビューアモードの起動条件]

ビューアモードで起動する条件を選択します。チェックされている操作によりエディタが起動された場合に、ビューアモード状態になります。

[初期値に戻す]ボタン

設定内容を初期状態に戻します。

●メールの返信ダイアログボックス

[ツールメニュー・メール送信]から表示されるダイアログボックスです。
メールで受信した CRD ファイルの送り元に、受信確認のメールを返信します。まだ受信確認のメールを返信していない CRD ファイルを開いた時のみ「メール送信」を選択することができます。

[メール送信(SMTP)サーバ]
メールを返信する SMTP サーバ名を指定します。

[送信者名]
ユーザ名を入力します。

[メールアドレス]
ユーザのメールアドレスを入力します。

[送信先アドレス]
送信先である PRINT STAGE サーバのメールアドレスが表示されます。

●REPORT HOLDER 印刷設定ダイアログボックス

REPORT HOLDER 対応プリンタドライバで表示されるダイアログボックスです。
REPORT HOLDER 印刷の設定を行います。

[格納方法]

スプールファイルを作成するときのグループやファイル名の指定方法を選択します。

[一時フォルダに格納する]

REPORT HOLDER の「一時フォルダ」にファイルが格納されます。
※一時フォルダに格納されたスプールファイルは、REPORT HOLDER エディタの終了時に削除されます。

[印刷実行時に指定する]

REPORT HOLDER 印刷を実行してからダイアログボックスが表示され、グループ名、スプールファイル名を指定することができます。

[エディタの指定に従う]

REPORT HOLDER エディタの[環境設定]ダイアログボックスで指定されたグループにスプールファイルを作成します。スプールファイル名は、自動的に設定されます。

[同一ドキュメントの格納方法]

スプールファイル作成時に、既に同名のファイルがある場合の処理方法を指定します。

[名前を指定する]	ダイアログボックスが表示され、グループ名、スプールファイル名を指定することができます。
[上書きする]	同名のファイルがあっても、これに上書きします。
[別名で格納(連番付加)]	連番を付けて、別のスプールファイル名で格納します。

[エディタ起動モード]

エディタの起動方法を指定します。

[新規作成]

REPORT HOLDER 印刷完了後、REPORT HOLDER エディタを起動します。
印刷した文書は、新しい REPORT HOLDER 文書に挿入された状態になります。

[継続作成]

REPORT HOLDER 印刷完了後、REPORT HOLDER エディタを起動します。
印刷した文書は、既に開いている REPORT HOLDER 文書に追加された状態になります。

[無起動]

REPORT HOLDER 印刷完了後、REPORT HOLDER エディタを起動しません。

[エディタ表示]

REPORT HOLDER エディタ起動時の表示方法を指定します。(既に REPORT HOLDER エディタが起動している場合には、この設定は無効になります。

[エディタモード]

REPORT HOLDER 印刷完了後、REPORT HOLDER エディタを起動します。
印刷した文書は、新しい REPORT HOLDER 文書に挿入された状態になります。

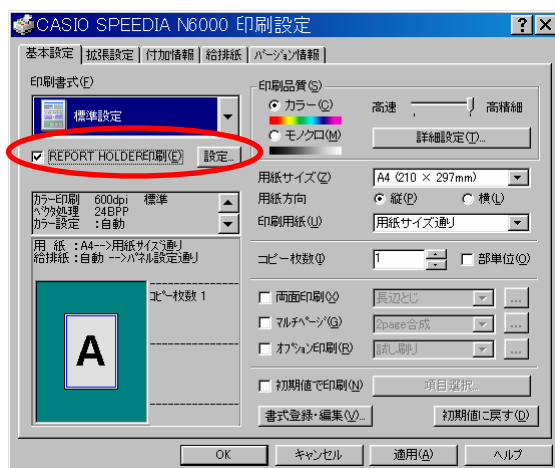
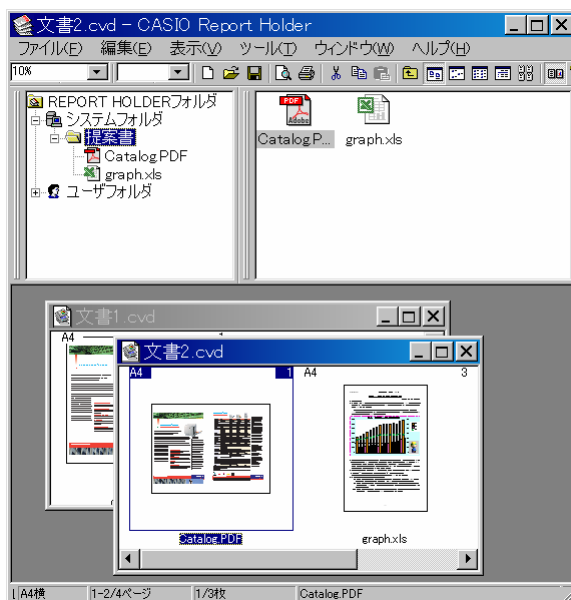
[ビューアモード]

REPORT HOLDER 印刷完了後、REPORT HOLDER エディタを起動します。
印刷した文書は、既に開いている REPORT HOLDER 文書に追加された状態になります。

[エディタに印刷設定を反映する]

印刷実行時のプリンタの印刷設定が、REPORT HOLDER エディタで使用するプリンタの印刷設定に反映されるようにします。

基本的な操作

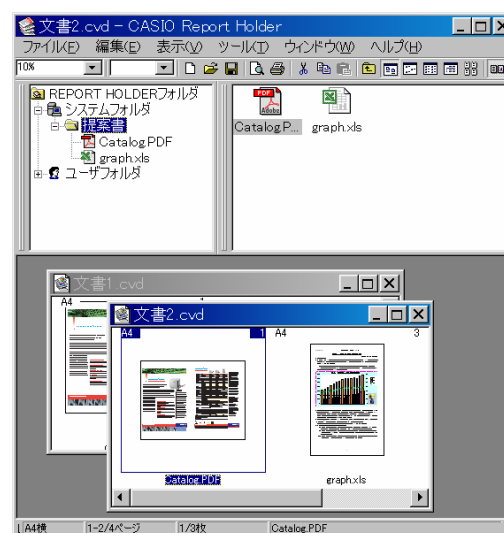
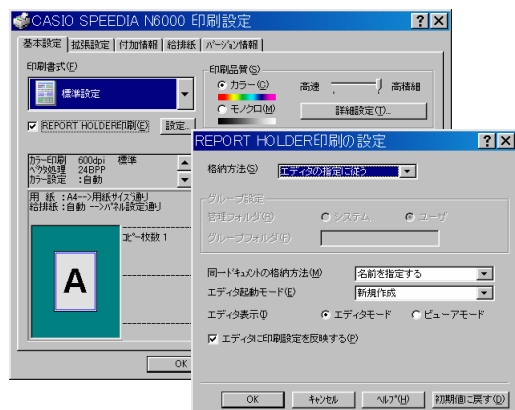
REPORT HOLDER で文書を扱えるようにするためには、アプリケーションから『印刷』を行います。
印刷を行う時には、実際に出力するプリンタの代わりに、REPORT HOLDER 印刷機能に対応したプリンタを選択します。

SPEEDIA プリンタドライバでは、[REPORT HOLDER 印刷]チェックボックスをチェックすることで、プリンタに印刷する代わりに、REPORT HOLDER のスプールファイルとして保管されます。

REPORT HOLDER 印刷によって作成されたスプールファイルは、『REPORT HOLDER エディタ』で操作することができます。

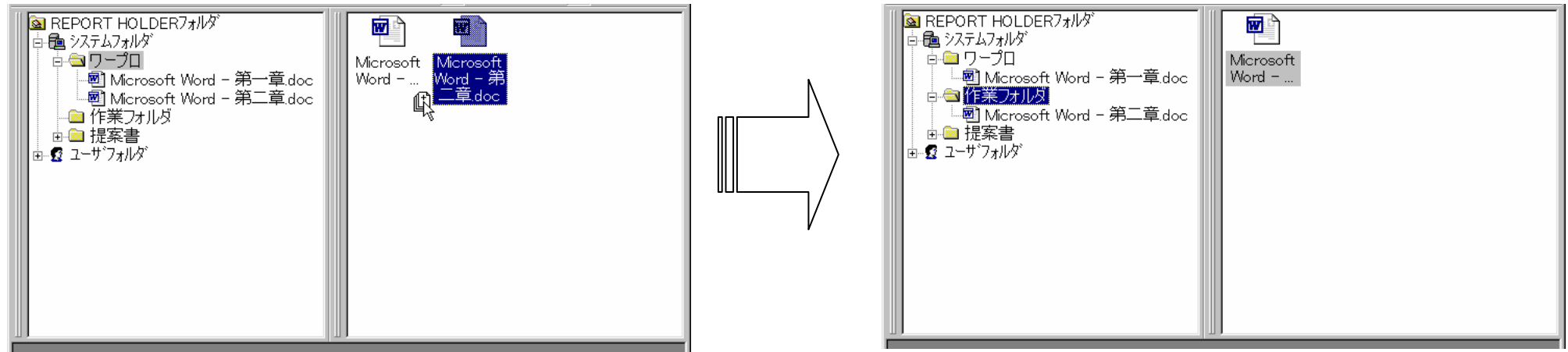
REPORT HOLDER エディタでは、スプールファイルを画面上で確認しながら、ページの並べ替えや、レイアウトの変更を行うことができます。
また、他にスプールファイルがあれば、そこからページを抜き出して、１つの文書にまとめることもできます。

REPORT HOLDER エディタで再編成した文書は、そのまま印刷したり、ファイルに保存しておくことができます。

■スプールファイルの操作

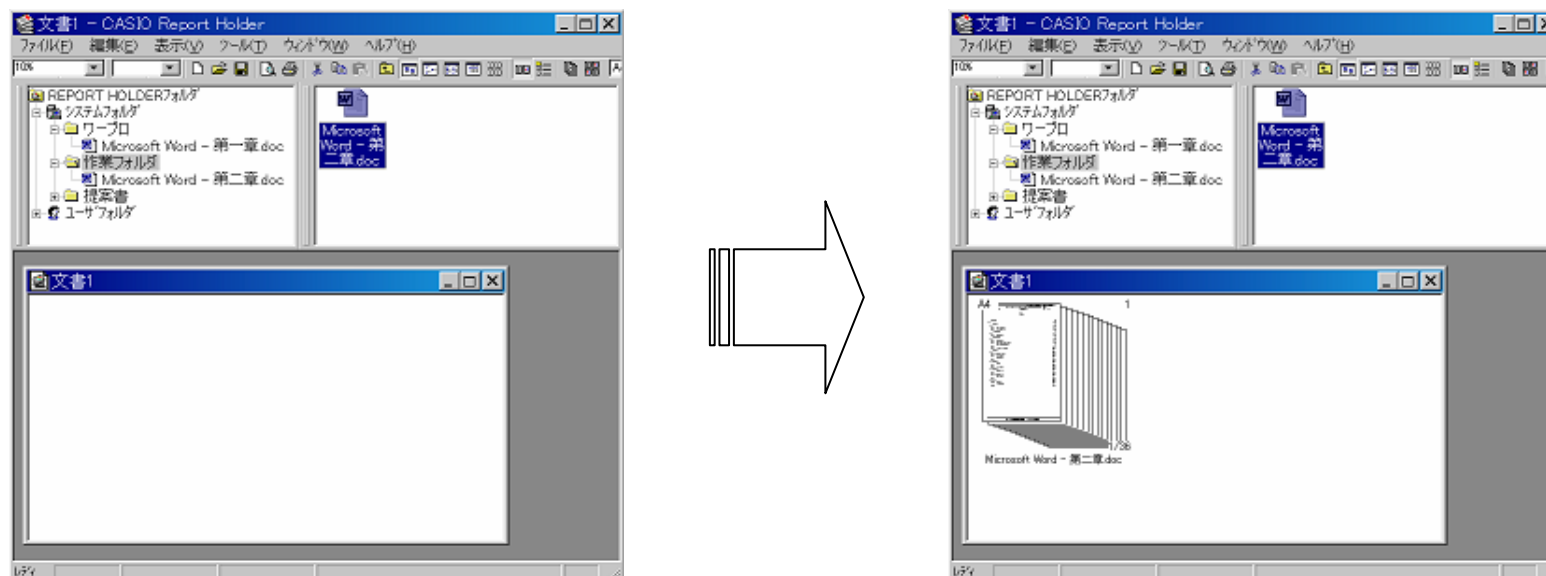
●エディタにスプールファイルを追加する

REPORT HOLDER 印刷を実行すると、REPORT HOLDER エディタに印刷した文書がスプールファイルとして追加されます。
追加されたスプールファイルは、エディタの選択ウィンドウ／表示ウィンドウに表示されます。
REPORT HOLDER 印刷設定の『エディタ起動モード』を、『新規作成』または『継続作成』を選択している場合には、編集ウィンドウに挿入された状態になります。

●スプールファイルを管理する

スプールファイルは、エディタの選択ウィンドウ／表示ウィンドウに表示されます。
選択ウィンドウは、フォルダ階層構造になっており、このフォルダの単位でスプールファイルをグループ分けすることができます。
選択ウィンドウと表示ウィンドウでは、Windows エクスプローラのように、スプールファイルの移動やコピーを行うことができます。

■ページの編集

●ページの挿入

REPORT HOLDER印刷によって作成されたスプールファイルを、以下のいずれかの操作でスプールファイルを編集ウィンドウに追加できます。

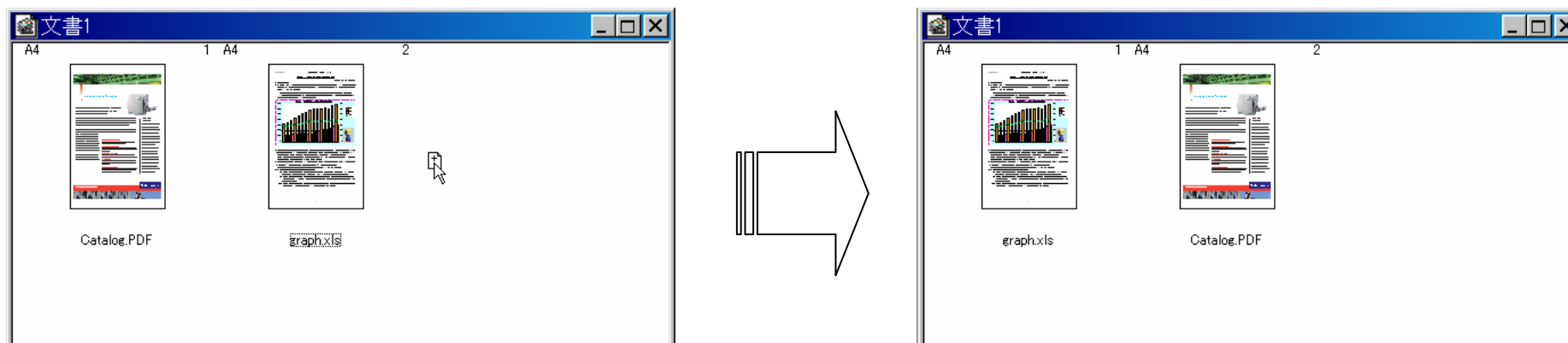
- **ドラッグ＆ドロップ**
  マウスを使って、編集ウィンドウに追加したいページをドラッグ＆ドロップで挿入します。ドラッグしながら編集ウィンドウにカーソルを移動すると、挿入カーソルが表示されます。挿入カーソルが挿入位置になりますので、これを目安にドロップを行ってください。
- **挿入メニュー**
  表示ウィンドウで挿入したいページを選択して、編集メニューから『選択ページを挿入』を実行してください。
- **コピーと貼り付け**
  表示ウィンドウで挿入したいページを選択して、編集メニューから『コピー』を実行し、編集ウィンドウでメニューから『貼り付け』を実行してください。

●ページの並べ替え

編集ウィンドウに挿入されたページを並び替えることができます。

- **ドラッグ＆ドロップ**

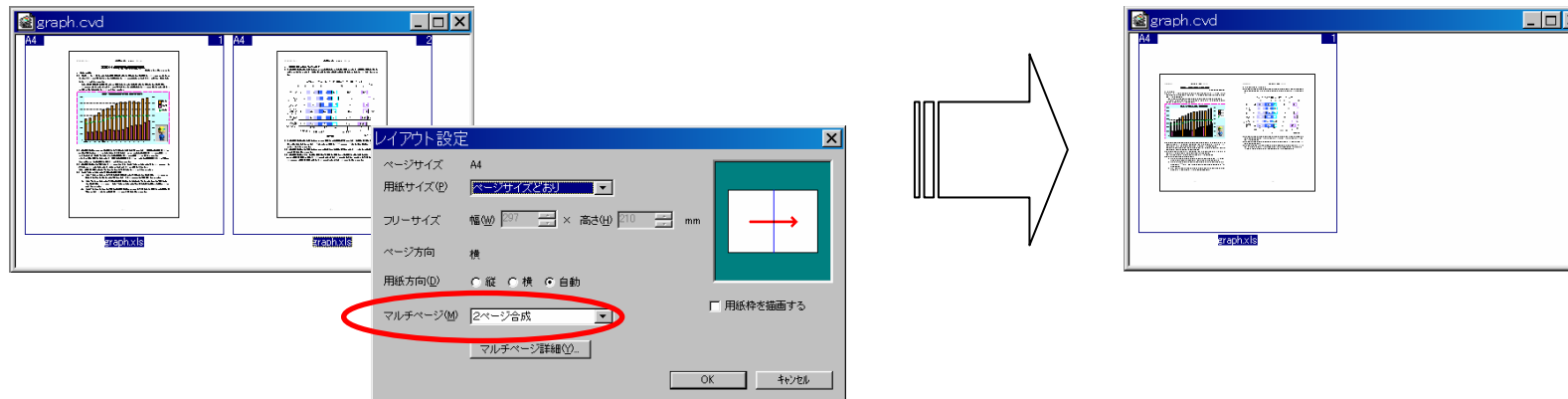
  マウスを使って、並び替えたいページをドラッグ＆ドロップで移動します。ドラッグしながらカーソルを移動すると、挿入カーソルが表示されます。挿入カーソルが挿入位置になりますので、これを目安にドロップを行ってください。

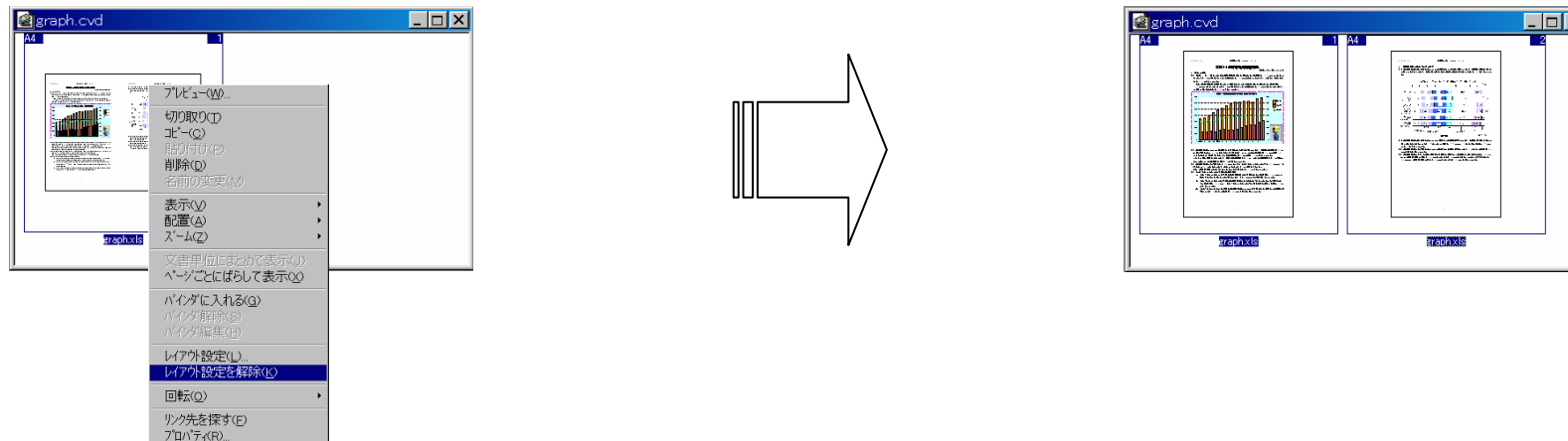
- **切り取りと貼り付け**

  移動したいページを選択して、編集メニューから『切り取り』を実行します。移動先のページの前にあるページを選択して、編集メニューから『貼り付け』を実行すると、切り取られたページが挿入されます。

●ページレイアウトの変更

編集ウィンドウに表示されている各ページのレイアウトを変更することができます。
ページサイズを変更して拡大／縮小したり、マルチページの設定を行って用紙１枚に複数のページを割り付けます。

・ レイアウト設定

レイアウトの設定を行うためには、レイアウトの変更を行うページを選択して、編集メニューから『レイアウト設定』メニューを実行します。
表示されるレイアウト設定ダイアログボックスでレイアウトの設定を行います。

・ レイアウト設定の解除

レイアウトの設定を行ったページは、編集メニューなどから『レイアウト設定を解除』メニューを実行すると、元の状態に戻すことができます。

●ページプレビューとスナップショット

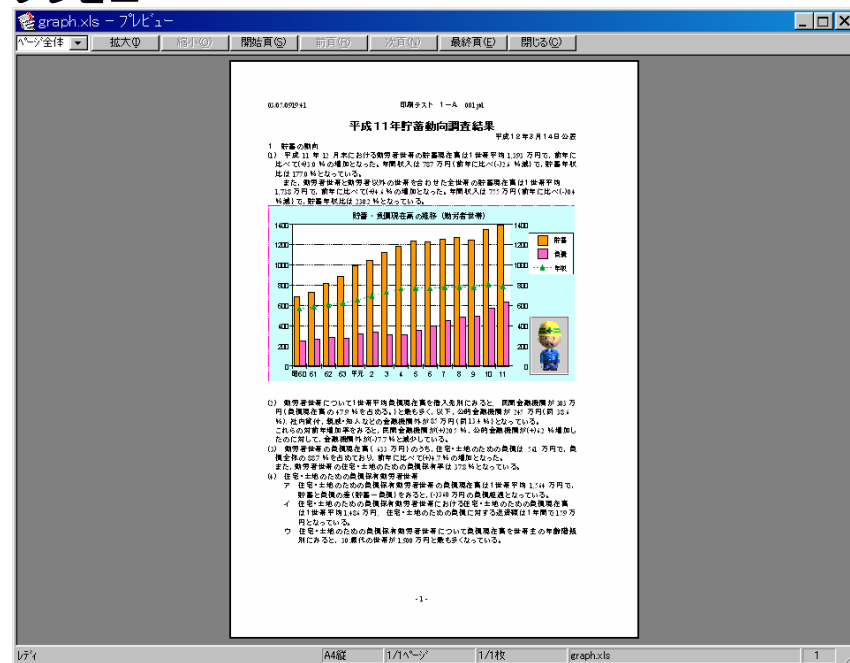
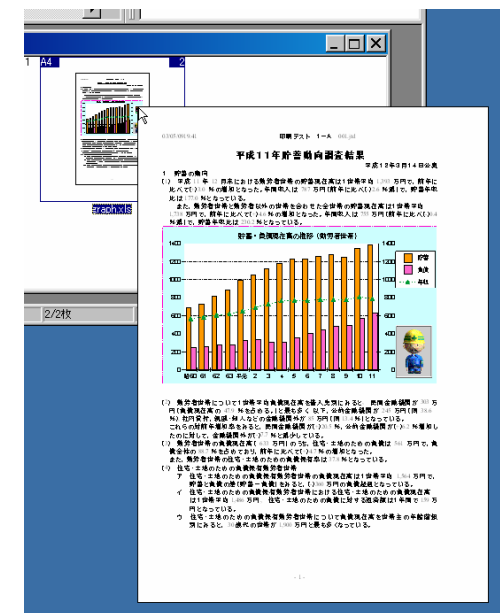
表示されているスプールページを手軽に確認するための機能として、ページプレビューとスナップショット機能があります。

- **ページプレビュー**

  プレビュー機能のひとつで、選択されたページのプレビューを表示します。
  スプールページまたは編集ページをダブルクリックすると、ページプレビューウィンドウが開き、そのページの内容を確認することができます。

- **スナップショット**

  プレビュー機能のひとつで、一時的にページイメージを表示します。
  ページをクリックしたまま、マウスを動かさずにしばらく待つとページイメージが表示されます。
  スナップショット機能のＯＮ／ＯＦＦおよび、表示倍率はエディタ設定で変更できます。設定を行うためには、ツールメニューから『エディタ設定』メニューを実行します。

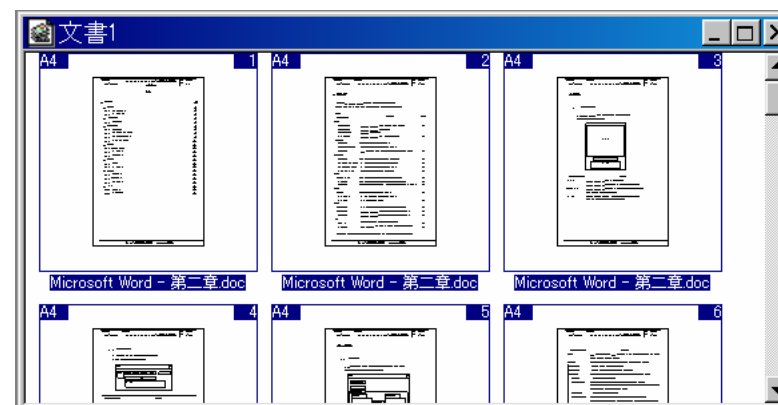
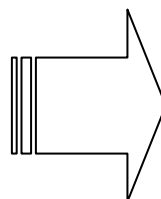
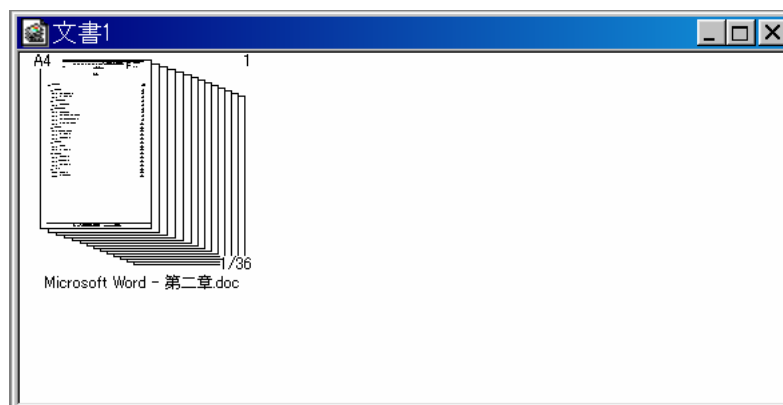
プレビュー

スナップショット

●ページごとにばらして表示／文書単位にまとめて表示

REPORT HOLDER 印刷を実行したスプールファイル単位で編集ウィンドウに挿入すると、複数のページが重なり束ねられた状態で表示されます。
この状態から各ページを展開して表示することができます。
また、展開したページは、束ねられた状態に戻すことができます。

・ **ばらして表示**

展開したいページを選択して、『ページごとにばらして表示』メニューを実行します。

・ **まとめて表示**

展開したページの先頭ページを選択して、『文書単位にまとめて表示』メニューを実行します。
ただし、ページの入れ替え等を行った場合、以降のページが束ねられないことがあります。

●バインダ

作成時の文書単位が異なっていてもまとめて操作をしたい場合などに、グルーピングを行う機能としてバインダ機能があります。
編集ウィンドウに挿入した複数の文書を、ひとつの単位にまとめておくことができます。

・バインダにまとめる

バインダにしたいページを選択して、『バインダに入れる』メニューを実行します。選択されているページはすべてバインダとしてまとめられます。
既にあるバインダにページを追加するには、バインダと追加のページを選択して、『バインダに入れる』メニューを実行します。

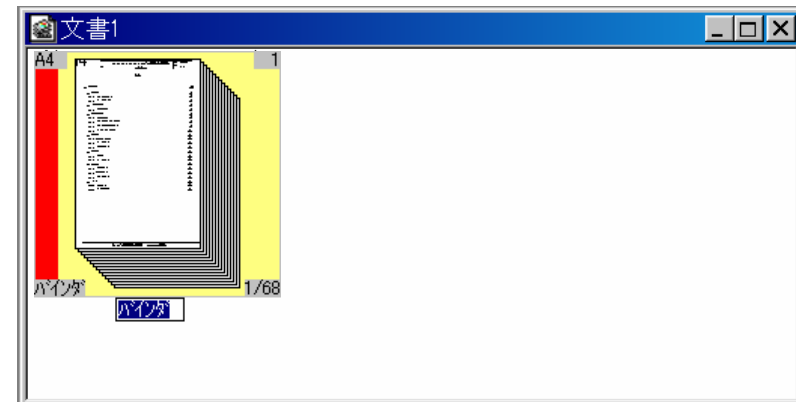
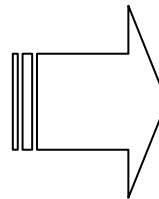
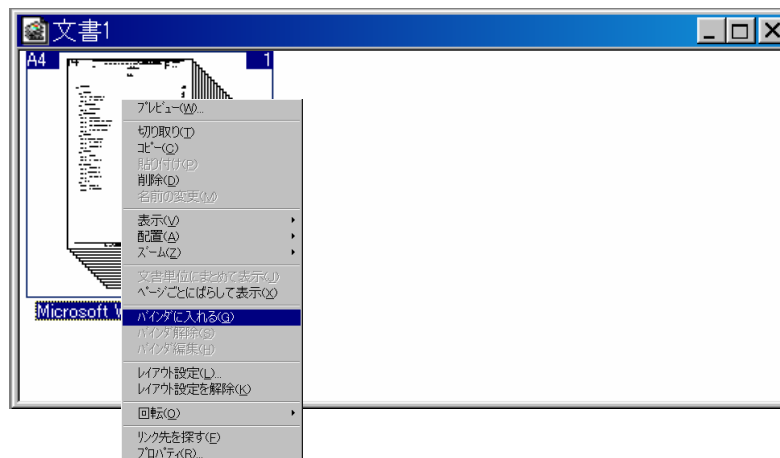
・バインダを解除する

バインダを個々のページの状態に戻すためには、『バインダ解除』メニューを実行します。

・バインダを編集する

バインダにまとまった状態のままで、バインダ内を編集することができます。『バインダ編集』メニューを実行すると、別の編集ウィンドウが作成され、バインダ内のページが表示されます。

・バインダに名前を付ける

バインダには、任意の名前を付けることができます。『名前の変更』メニューを実行して名前を設定します。

■ファイル操作

●編集した文書を印刷する

REPORT HOLDER エディタで編集した文書を印刷します。

・ 印刷

ファイルメニューから『印刷』メニューを実行します。

●編集したファイルを保存する

REPORT HOLDER エディタで編集した文書をファイルに保存します。

・ 保存

ファイルメニューから『名前を付けて保存』または『上書き保存』メニューを実行します。
『名前を付けて保存』の時、『ファイルの種類』で CVD ファイル形式か CRD ファイル形式かを選択することができます。

■動作設定

●表示モードを変更する

REPORT HOLDER エディタの各ウィンドウは、以下の表示モードを持っています。

表示ウィンドウ

- 大きいアイコン表示／小さいアイコン表示
  スプールファイルを大きいアイコンまたは小さいアイコンの形式で表示します。
  『大きいアイコン』または『小さいアイコン』メニューを実行すると表示が切り替わります。
- 一覧表示
  スプールファイルをリスト形式で表示します。
  『一覧』メニューを実行すると表示が切り替わります。
- 詳細表示
  スプールファイルをリスト形式で表示します。ファイル名の他に、用紙情報などの詳細情報についても表示します。
  『詳細』メニューを実行すると表示が切り替わります。
- イメージ表示
  スプールファイルをイメージ表示します。イメージ表示の表示倍率についても設定することができます。
  『イメージ表示』メニューを実行すると表示が切り替わります。

編集ウィンドウ

- リスト表示
  編集ページをリスト形式で表示します。用紙情報などの詳細情報についても表示します。
  『リスト表示』メニューを実行すると表示が切り替わります。
- 概観表示
  編集ページをイメージ表示します。また、概観表示の表示倍率についても設定することができます。
  『概観表示』メニューを実行すると表示が切り替わります。

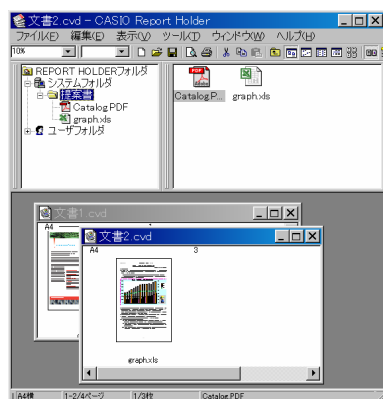
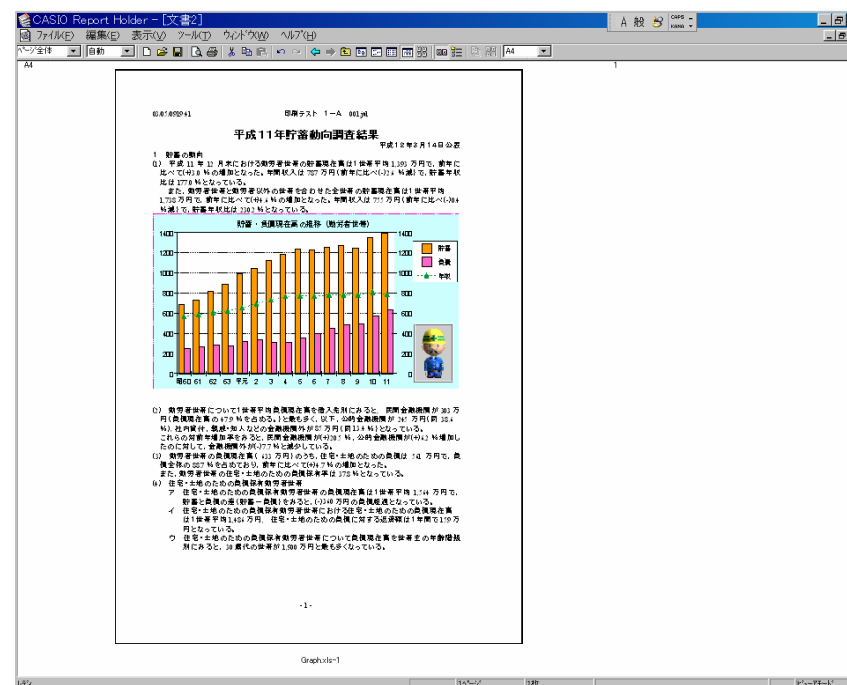
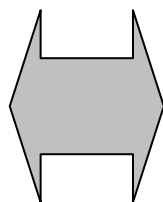
エディタモード／ビューアモード

REPORT HOLDER エディタでは、『エディタモード』と『ビューアモード』を切り替えることで、ウィンドウの状態を一括して変更することができます。

・ エディタモード

REPORT HOLDER エディタの表示状態のひとつで、初期状態では編集に適した状態で表示される設定になっています。
エディタモードの表示状態は、エディタを終了するか、ビューアモードに移行する時に、その時点の状態を記憶します。

・ ビューアモード

REPORT HOLDER エディタの表示状態のひとつで、初期状態ではプレビューにより近い状態で表示される設定になっています。
ビューアモードの表示状態は、初期状態では記憶されないため、ビューアモードに切り替えると常にプレビューに近い状態の表示に切り替わります。
ビューアモードの表示状態を変更して記憶させるためには、エディタ設定ダイアログボックスの「ビューアモードの設定を保存」項目をチェックします。

エディタモード

ビューアモード

●エディタ環境をカスタマイズする

REPORT HOLDER エディタの動作や環境を設定して使い易いようにカスタマイズすることができます。

- **環境設定**
  エディタで利用するフォルダの設定などを指定します。
  ツールメニューから『環境設定』メニューを実行すると設定を行う環境設定ダイアログボックスが表示されます。
- **エディタ設定**
  エディタの表示設定などを指定します。
  ツールメニューから『エディタ設定』メニューを実行すると設定を行うエディタ設定ダイアログボックスが表示されます。

便利な使い方

（１）REPORT HOLDER 印刷機能を、印刷プレビューの代わりに使用することができます。
印刷を行う前に、REPORT HOLDER に文書を投入して、REPORT HOLDER エディタで確認してみてください。

（２）レイアウトを変更して印刷することができます。元の文書より大きい用紙に拡大して印刷したり、複数のページを１枚の用紙に割り付ける
マルチページ機能を使用することもできます。

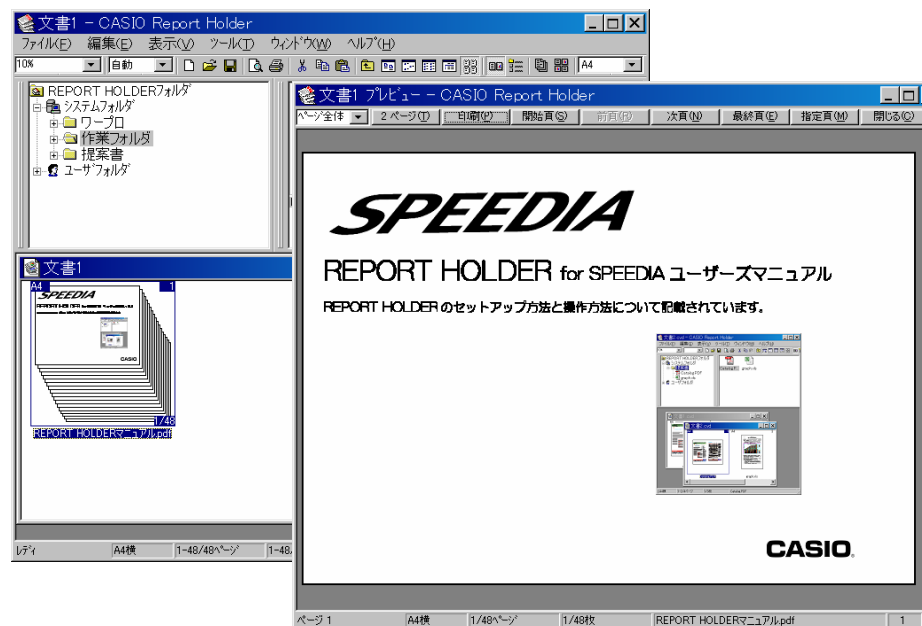
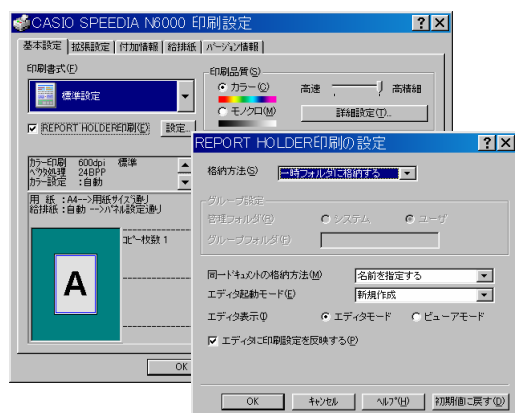
（３）過去に REPORT HOLDER 印刷を実行して作成したスプールファイルは、REPORT HOLDER エディタで削除を行わない限りそのまま保
管されます。（一時フォルダのスプールファイルを除く）
保管されているスプールファイルのページを抜き出して REPORT HOLDER 文書に挿入することができます。

（４）REPORT HOLDER エディタでは、２つ以上の文書を結合することも出来ます。
元の文書が異なるアプリケーションで作成されていても、１つの文書にまとめておくことができます。

（５）REPORT HOLDER エディタで、CVD ファイル形式で保存しておくと、REPORT HOLDER 印刷によってスプールファイルが更新された
時に、更新されたページの内容が反映されます。
REPORT HOLDER 印刷を行うたびに変更されたページを差し替える必要がありません。
逆にスプールファイルの更新に影響を受けないようにするには、CRD ファイル形式で保存します。

（１）印刷プレビューの代わりに使用する

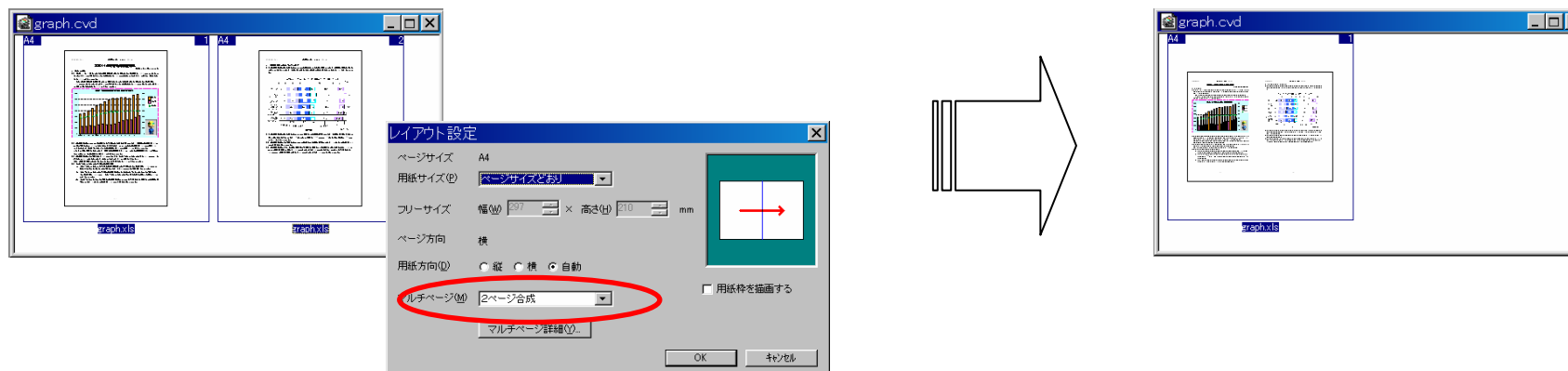
印刷を行う前に、一旦 REPORT HOLDER 印刷を行って、概観を確認することができます。

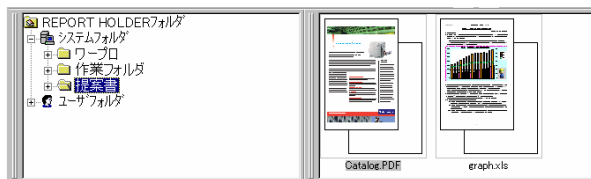
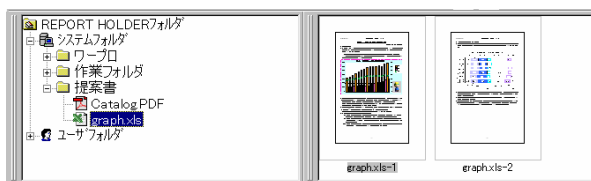
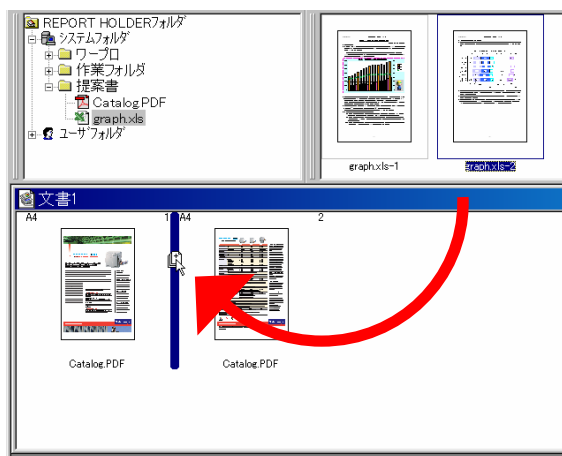
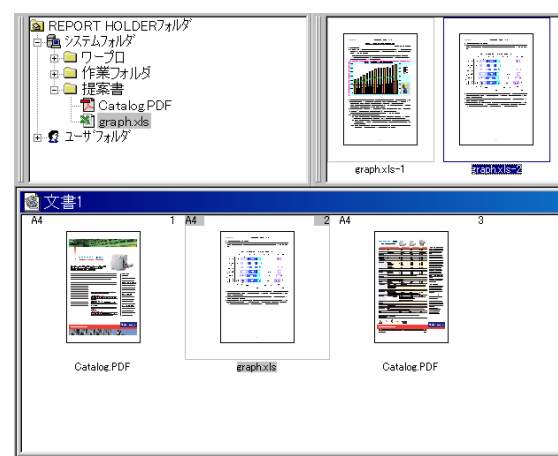
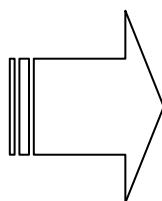
1. REPORT HOLDER 印刷を実行する
   REPORT HOLDER 印刷機能に対応したプリンタを選択して印刷を実行します。
   REPORT HOLDER 印刷設定の『エディタ起動モード』は、『新規作成』を選択しておきます。
   また、「エディタに印刷設定を反映する」にチェックしておくと、アプリケーションで設定したプリンタドライバの設定が、REPORT HOLDER エディタに引き継がれるため、REPORT HOLDER エディタで改めてプリンタドライバを設定する必要がありません。
   さらに、『格納方法』として『一時フォルダに格納する』を選択すると、REPORT HOLDER エディタ終了後に作成されたスプールファイルが自動的に削除されます。
2. イメージを確認する
   REPORT HOLDER エディタが起動して、印刷した文書が編集ウィンドウ上に展開されます。概観表示モードで、各ページの概観を確認できます。
3. 印刷を実行する
   編集ウィンドウで確認した結果に問題がなければ、REPORT HOLDER エディタから印刷を実行して、プリンタに印刷させせます。

（２）レイアウトを変更して印刷する

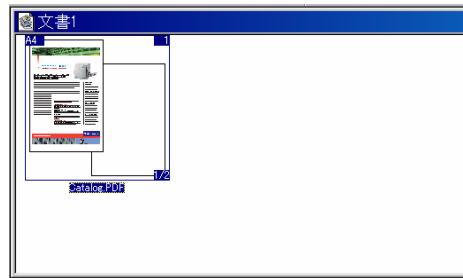
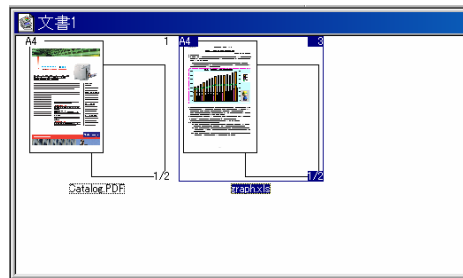
一旦 REPORT HOLDER 印刷を行った文書は、レイアウトを変更することができます。

1. REPORT HOLDER 印刷を実行する
   REPORT HOLDER 印刷機能に対応したプリンタを選択して印刷を実行します。
   REPORT HOLDER 印刷設定の『エディタ起動モード』は、『新規作成』を選択しておきます。

2. レイアウトを変更する
   REPORT HOLDER エディタが起動して、印刷した文書が編集ウィンドウ上に展開されます。レイアウトを変更したいページを選択して、レイアウト設定を行います。
   表示されたレイアウト設定ダイアログで、ページサイズを変更したり、マルチページ設定を行うことができます。

3. 保存または印刷する
   レイアウトを変更した文書は、印刷したり、ファイルに保存しておくことができます。

（３）スプールファイルのページを抜き出して文書に挿入する

スプールファイルからページを抜き出して文書に挿入することができます。

1. フォルダを開く
   スプールファイルの保存されているフォルダを開きます。
   選択ウィンドウの該当ツリーをクリックしてください。

2. スプールファイルを選ぶ
   更に、スプールファイルを選びます。
   このまま、スプールファイル全体を編集ウィンドウに挿入することもできますが、一部のページだけを挿入する場合には、表示ウィンドウで該当スプールページを選択してください。

3. ページを挿入する
   スプールページをドラッグ＆ドロップなどで編集ウィンドウに挿入します。

（４） ２つ以上の文書を結合する

２つの文書を、REPORT HOLDER 印刷を実行して、１つの結合した REPORT HOLDER 文書として保存することができます。

1. REPORT HOLDER 印刷を実行する
   REPORT HOLDER 印刷機能に対応したプリンタを選択して印刷を実行します。REPORT HOLDER 印刷設定の『エディタ起動モード』は、『新規作成』を選択しておきます。

2. ２つ目の文書を印刷する
   REPORT HOLDER 印刷対応プリンタを選択して、２つめの文書も印刷します。REPORT HOLDER 印刷設定の『エディタ起動モード』は、『継続作成』を選択しておきます。

3. 文書イメージを確認する
   REPORT HOLDER エディタの編集ウィンドウ上に、REPORT HOLDER 印刷した２つの文書が展開されます。
4. 保存または印刷する
   ２つの文書が結合した編集ウィンドウの内容を、印刷したり、ファイルに保存しておくことができます。
5. 一度 REPORT HOLDER 印刷を行った文書は、削除しない限りフォルダに残っています。
   選択ウィンドウから、編集ウィンドウにドラッグ＆ドロップすることで、異なる文書に挿入することもできます。

（５）CVD ファイル形式で保存

CVD ファイル形式で保存しておくと、REPORT HOLDER 印刷によってスプールファイルが更新された時に、更新されたページの内容が反映されます。

1. 名前を付けて保存
   ファイルメニューから、『名前を付けて保存』を選択します。
2. ファイルの種類を選択
   『ファイルの種類』で CVD ファイル形式を選択します。
3. 保存を実行
   ファイル名を指定して、OK ボタンをクリックすると CVD ファイル形式で保存されます。

（６）CRD ファイル形式で保存

他のコンピュータで REPORT HOLDER 文書を正しく表示するためには、CRD ファイル形式で保存します。

1. 名前を付けて保存
   ファイルメニューから、『名前を付けて保存』を選択します。
2. ファイルの種類を選択
   『ファイルの種類』で CRD ファイル形式を選択します。
3. 保存を実行
   ファイル名を指定して、OK ボタンをクリックすると CRD ファイル形式で保存されます。

こんなときは

REPORT HOLDER がインストールできない

・ REPORT HODLER をインストールするためには、セットアッププログラムを実行します。
詳しくは、「REPORT HOLDER のセットアップ」の章を参照してください。

REPORT HOLDER 印刷ができない

・ REPORT HOLDER エディタのインストールを行っていないと、REPORT HOLDER 印刷はできません。
・ REPORT HOLDER 印刷機能に対応したプリンタでなければ、REPORT HOLDER 印刷はできません。
・ プリンタのインストールには、セットアップを実行してください。
プリンタフォルダの[プリンタの追加]からインストールした場合には、REPORT HOLDER 印刷機能が選択できません。
・ REPORT HOLDER 印刷機能に対応した SPEEDIA プリンタドライバでは通常の印刷と REPORT HOLDER 印刷機能を切り替えて使用します。REPORT HOLDER 印刷機能を有効にしているかどうかを確認してください。
・ セットアップを行った直後には、コンピュータの再起動を行ってください。

印刷ができない

・ REPORT HOLDER 印刷機能に対応した SPEEDIA プリンタドライバでは通常の印刷と REPORT HOLDER 印刷機能を切り替えて使用します。
通常の印刷を行う場合には、REPORT HOLDER 印刷機能を無効にしてください。

スプールファイル内の文字が正しく表示されない

・ REPORT HOLDER 印刷時に使用していたフォントが、表示するときに存在しないことが考えられます。
アプリケーションによっては、一時的にフォントを生成する場合があります。
この場合、フォントの変換指定を行って、フォントをイメージに変換する設定にすると、正常に表示されます。
・ フォントの変換には、「CASIO SPOOL CONVERT」プリンタドライバが必要です。このプリンタドライバが削除されている場合、フォント変換が行われません。この場合には、REPORT HOLDER エディタを再インストールしてください。

REPORT HOLDER マニュアル
2005年　5月31日　第4版発行
カシオ計算機株式会社

システムソリューション営業統轄部　ページプリンタ企画室

〒151-8543　東京都渋谷区本町1−6−2
電話 03-5334-4552

東京地区	電話 03-5334-4550
西日本地区	電話 06-6243-2100
中部地区	電話 052-324-2135
カシオ情報機器　北海道地区	電話 011-221-7891
カシオ情報機器　東北地区	電話 022-718-0650
カシオ情報機器　中国地区	電話 082-239-1500
カシオ情報機器　四国地区	電話 087-862-8822
カシオ情報機器　九州地区	電話 092-475-3939
テクニカル・インフォメーション・センター	電話 03-5334-4557
インターネット・ホームページ	http://www.casio.co.jp/ppr/

T-746PC